

## SPring-8運転・利用状況

財団法人高輝度光科学研究センター  
計画管理グループ

平成12年10～11月の運転・利用実績

SPring-8は10月4日から第9サイクル、10月25日から第10サイクル、11月15日から第11サイクルの運転を、それぞれ3週間連続運転モードで実施した。

第9～11サイクルでは地震による停止、電磁石電源の異常による停止、冷却水流量低下による停止、データベースの不調による停止等があり、総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は約3.0%であった。

放射光利用実績については、実験された共同利用研究の課題は合計291件、利用研究者は1356名。専用施設利用研究の課題は合計88件、利用研究者は344名にのぼった。

## 1. 装置運転関係

## (1) 運転期間

第9サイクル（10/4（水）～10/20（金））

第10サイクル（10/25（水）～11/10（金））

第11サイクル（11/15（水）～11/30（木））

## (2) 運転時間の内訳

運転時間総計 約1139時間

装置の調整、およびマシンスタディ 約228時間

放射光利用運転時間 約884時間

故障等によるdown time 約27時間

総放射光利用運転時間（ユーザータイム） + )

に対するdown timeの割合 約3.0%

## (3) 運転スペック等

第9～10サイクル（マルチバンチ運転）

・160bunch train × 11

・定時入射 1日1回（15時）

・蓄積電流 1～99mA

第11サイクル（セバラルバンチ運転）

・1 bunch（1.5mA）+ multi-bunch

・374 bunch

・15 bunch train × 29

・定時入射 1日1回（15時）

・蓄積電流 1～99mA

## (4) 主なdown timeの原因

地震時の軌道の変動によるInter lock

電磁石電源異常によるInter lock

冷却水の流量低下によるInter lock

周長補正プログラムのエラーによるInter lock

データベースの不調によるInter lock

## (5) トピックス

第9サイクル（10月6日）での地震後の影響について、全系の加速器の点検、管理区域内の遮蔽の点検・確認を行ったところ、特に問題はなかった。

## 2. 利用関係

## (1) 放射光利用実験期間

第9サイクル（10/5（木）～10/18（水））

第10サイクル（10/26（木）～11/8（水））

第11サイクル（11/16（木）～11/28（火））

## (2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 17本

R&amp;Dビームライン 3本

理研ビームライン 3本

原研ビームライン 3本

専用ビームライン 5本

加速器診断ビームライン 1本

共同利用研究課題 291件

共同利用研究者数 1356名

専用施設利用研究課題 88件

専用施設利用研究者数 344名

## (3) トピックス

第9サイクル（10月6日）での地震後の影響について、全ビームラインのハッチ扉等の点検を行ったところ、特に異常はなかったが、一部の光学機器に若干のずれがあった。

第9サイクルから第6回共同利用（2000B）が開始された。

第11サイクルにてBL45XUの挿入光源の真空リークのため応急処置を行ったが、利用が制限されている。冬期長期停止期間中に修理を行い第1サイクルから通常利用を再開予定。

第11サイクルは12月1日のJASRIの創立記念日の関係で、通常の3週間連続運転モードより、1日短い運転期間となった。

### 3. ニュースバル関係

ニュースバルは第9～11サイクルについては、順調に利用運転（焼き出し運転含む）及びマシンスタディ等を行った。

#### (1) 運転期間（土日は基本的に運転停止）

第9サイクル（10/5（木）～10/18（水））

第10サイクル（10/26（木）～11/8（水））

第11サイクル（11/16（木）～11/28（火））

#### 今後の予定

(1) 第12サイクルは12月1日のJASRIの創立記念日の関係で、12月5日から12月22日まで通常の3週間連続運転モードより、1日長い期間をセバールバンチ運転で実施する。

(2) 第12サイクル以降は、12月23日から平成13年1月14日まで冬期の長期運転停止期間に入り、各設備及び機器の点検作業等を実施する。

(3) 冬期長期運転停止期間後の運転再開（第1サイクル）は、平成13年1月15日から2月2日までの3週間連続運転モードの予定。その後は、2月7日から6月29日までサイクル間の運転停止期間・中間運転停止期間をはさみ、4週間連続運転モードの運転を5サイクル（第2～6サイクル）行う予定である。

運転条件については決定しだい、ユーザーに報告する。